

# 令和3年度 久我山学級について

## (1) 時間割について(学級要覧参照)

### ①グループ(主に国語、算数の内容で言葉や数に関する学習をしています。)

特別支援学級の小集団活動を生かして、そのお子さんの課題やニーズにどう応えるか考えて進めています。グループの学習では、小集団で一緒に学習する時間と個別の課題を学習する時間を設けています。個々のお子さんのニーズについては、個別指導計画を保護者と面談しながら作成し、学習を進めています。国語と算数の教科書は、個々に合わせて用意しています。教科書については、必要に応じて、内容を取り上げています。今年度は、5つのグループに分かれて学習しています。

### ②図工、音楽、体育

図工は1・2・3年生と4・5・6年生の2つに分かれて行っています。

音楽は1・2・3年生と4・5・6年生の2つに分かれて行う時間と、全員で行うリトミックの時間があります。図工と音楽は専門の講師が担当しています。

体育は全員で行っています。

### ③生活単元学習

特別支援学級には、連合移動教室(3~6年)、お誕生日会、季節の畑の仕事、買い物や調理、学校行事への参加など、一年間の流れの中で様々な行事や活動があります。それぞれを計画準備段階から体験学習し、生活の力を身に付けていきます。様々な教科や領域の内容が含まれた学習です。

### ④なかよしタイム

特別の教科道徳の授業です。道徳教育は日々の生活の中で常に行っていますが、週に1時間は、読み物教材や動画を使い、理解したことを実際にロールプレイしてみたり、ソーシャルスキルを学んだりということを計画して行っています。

## (2) 交流について

### ①本校の交流学習のねらい

#### 久我山学級にとって

○通常の学級の児童とのかかわり合いの中で、生活の場を広げ、経験を深め社会性を育てる。

○互いのふれあいの中で、豊かな人間関係を育み、コミュニケーション能力を高める。

#### 通常の学級にとって

○共に学ぶ仲間として、互いに認め合う気持ちを育て、絆を深める。

○特別支援学級の児童と日常的に接し、思いやりの心をもって自然にかかわることができるようにする。

### ②交流の場面

地域班活動、交流給食、遠足、運動会、たてわり班活動、クラブ、委員会、演劇・

音楽鑑賞教室、生活科見学・社会科見学など。本校3年生と遊びの交流をしている。  
給食、教科交流については、個々の児童の実態を考慮しながら進めている。

③区内特別支援学級・学校連合行事

6月：連合移動教室2泊3日（3～6年生） 10月：連合運動会  
1月：連合展覧会

※今年度は新型コロナウイルスのため、実施していない行事もあります。

(6) その他

①家庭と学校の連絡について

- ・連絡帳にて、学校やご家庭での様子などについて、毎日やりとりします。
- ・学級通信を毎週金曜日に発行し、学校生活の様子や行事、下校時刻、その他大切なお知らせを載せています。

②登下校について

- ・最初は、お家の方やヘルパー（移動支援）の方の送り迎えをお願いしています。
- ・最終的には一人登下校を目指していますので、担任と相談し、可能な範囲で少しずつ練習をしていきます。

③専門家の巡回指導

- ・月に1～2日、言語療法士の巡回指導があります。全員を順番に、一日5名程度で個別に指導を行っています。
- ・月に1日程度、作業療法士の巡回指導があります。授業中での児童への指導や、教員、介助員に対応等の助言を行っています。また、ご家庭での相談も行っています。
- ・必要に応じて、専門家チームが巡回相談を行っています。

※今年度は、新型コロナウイルスのため、学級説明会はありません。

ご質問がある場合は、放課後、お電話にてご連絡いただければお答えします。

（放課後会議などで出られないこともありますがお承知おきください。）

久我山学級直通電話…03-3333-7910